



エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2014.8.15 No. **93**

「エコマークアワード2014」募集のお知らせ

エコマーク事務局では、エコマーク商品等、環境配慮型商品普及への優れた取り組みを表彰する「エコマークアワード」を今年も実施いたします。

この表彰制度は、環境配慮型商品普及に関する優れた取り組みを広く公表するとともに、エコマーク商品等のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的として創設されたものです。

第5回となる今年度の募集要項は以下のとおりです。

〈表彰について〉

- 賞の種類：エコマークアワード 金賞、銀賞、銅賞 [公募]
プロダクト・オブ・ザ・イヤー [エコマーク認定商品の中から選考]
- 選考～表彰の流れ：一次審査（書類審査）、本審査（プレゼンテーション、2014年12月上旬予定）を経て受賞者を決定します。表彰式は2015年3月に行う予定です。

〈募集について〉

- 募集対象：エコマーク認定商品保有企業またはエコマーク商品等の普及に貢献している企業・団体
(なお、プロダクト・オブ・ザ・イヤーは2013年度、2014年度に認定されたエコマーク認定商品の中から選考します。)
- 募集期間：2014年8月1日（金）～9月30日（火）
- ◆ 詳細はエコマーク事務局ホームページ (<http://www.ecomark.jp/award/2014/>) をご覧ください。ご応募をお待ちしております。



認定基準に関するお知らせ

認定基準の見直し（新Version策定）について

エコマーク商品類型No.103「衣服Version2」、No.104「家庭用繊維製品Version2」、No.105「工業用繊維製品Version2」、No.112「文具・事務用品Version1」、No.132「トナーカートリッジVersion1」、No.142「インクカートリッジVersion1」について、認定基準の

見直しを進めるため、認定基準策定に関する意見、ならびに認定基準案を策定する基準策定委員会の委員候補者を募集しました（募集は終了しました）。今後、各商品類型において基準策定委員会を設置し、認定基準の見直し（新Versionの認定基準策定）を検討します。

トピックス

エコマーク「大阪デスク」を開設しました

エコマークは、おおさかATCグリーンエコプラザ内に、西日本の拠点となる大阪デスクを開設しました。6月より毎月第3木曜日10時～17時の間、エコマークスタッフが駐在し、エコマークやグリーン購入などについてのお問い合わせにお答えしています。これまでに、認定商品の変更手続きやエコマークの普及に関

する相談をいただきました。ぜひ大阪デスクをご活用ください。

※大阪デスクにお越しの際は、事前のご予約をお願いいたします（基準・認証課 電話03-5643-6253）。詳細はエコマーク事務局ウェブサイト（<http://www.ecomark.jp/osakadesk2014.pdf>）をご覧ください。

GEN 役員会に出席しました

5月8日、9日に、各国のタイプI環境ラベル機関が加盟する世界エコラベリング・ネットワーク（Global Ecolabelling Network、以下GEN）の役員会がイタリア・ミラノで開催され、エコマーク事務局からはGENの役員を務める宇野事務局長およびGEN総務事務局担当者が出席しました。役員会では、さまざまな国際機関との連携やGENのPR活動の拡充、今後の運営などについて活発な議論が行われました。

GENでは、今年で設立20周年を迎えるにあたり、9月23日～26日に中国・北京でGEN年次総会と併せて20周年記念式典を執り行う予定です。



GEN 役員会の参加メンバー

国際ワークショップへの参加およびタイグリーンラベルとの相互認証協議の実施

5月19日～22日、タイ・バンコクにて開催された「第11回持続可能な消費と生産のためのアジア太平洋円卓会議」ならびに国連環境計画が主催する「持続可能な公共調達と環境ラベルの調和に関するアジア地域のワークショップ」に参加しました。両会議では、主にグリーン公共調達の政策担当者や環境ラベル機関の担当者が出席し、環境ラベル基準などの国際的な調和

を主要なテーマに情報交換や意見交換を行い、日本からはエコマークの国際調和（相互認証等）の取り組みについて説明しました。

また、5月23日にはタイ・ノンタブリーにて、タイグリーンラベルを運営するタイ環境研究所（TEI）と相互認証に関する協議を行い、エコマークが5月に認定基準を制定したNo.155「複写機、プリンタなどの画像

機器」とタイの当該基準との共通基準を決定するとともに、認証手順の規則について議論を行いました。認証手順に関する合意書については、9月のGEN年次総会で締結する見通しです。



ワークショップでの発表の様子



TEIとの協議の様子

環境月間のイベントに参加しました

エコマークは6月の環境月間に各地の環境イベントに出展し、認定商品の展示などを通じて来場者の方々にエコマークに対する認識を深めていただきました。

■ 6月1日 ふっさ環境フェスティバル（東京都福生市）

福生市内で活動している環境関係団体、企業、近隣の高校や保育園・児童館など、多様な出展者と一緒にエコマークも参加しました。スタンプラリー（エコマークも参加）や吹奏楽の演奏、BMXのパフォーマンスなど、出展者も来場者も共に楽しめる充実したイベントでした。天候にも恵まれ、フェスティバルに来られた多くの方々にエコマークを紹介しました。

■ 6月7日、8日 エコライフ・フェア2014（環境省）

今年で25年を迎えた「エコライフ・フェア」は、あいにくの梅雨空の下での開催となりました。エコマークでは、認定商品の展示やパネルの掲示を行いました。また、今回は「こどもエコクラブ全国事務局」との合同出展とし、子どもたちの環境活動支援のPRを行いました。

■ 6月14日、15日 えべつ環境広場（北海道江別市）

「えべつ環境広場」は、レンガの町として有名な江別市野幌で開催されました。エコマークのコーナーでは、地元の米澤煉瓦株式会社より提供いただいた、リサイクル材料を使ったエコマーク認定のレンガ「アッシュブリック」（認定番号04 109 138）を展示しました。来場者は環境に対する関心が高く、環境のことを勉強しに来たという方や、二日ともお越しになる方が多くいらっしゃいました。地域の皆さんの温かさを感じるイベントでした。



「えべつ環境広場」のエコマークのコーナー

お知らせ

各地の環境イベントへの出展予定

- ・ 9月23日（祝・火）「エコメッセ2014 in ちば」：幕張メッセ（千葉県）
- ・ 9月27日（土）、28日（日）「ひめじ環境フェスティバル2014」：大手前公園（兵庫県）
- ・ 10月5日（日）「水戸市環境フェスタ2014」：偕楽園（茨城県）

※エコマークは地域の環境イベントへの出展を進めています。開催予定のイベントの情報がありましたらエコマーク事務局までお知らせください。

エコプロダクツ2014に出展します

エコマークは、12月11日（木）～13日（土）に東京ビッグサイトで開催される「エコプロダクツ2014」に出展します。エコマーク使用契約企業の皆様には、認定商品の展示や会場内でのエコマーク掲示に関してご

協力をお願いしたいと考えています。展示等についての詳細が決まり次第、エコマーク事務局ウェブサイトおよびメールマガジンにてご案内いたします。

エコマークニュース 第93号 2014年8月15日発行

編集・発行／公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F
TEL：基準・認証課 03-5643-6253 FAX：03-5643-6257（各課共通）
総務・契約監査課 03-5643-6255
普及・国際協力課 03-5643-6255

Homepage: <http://www.ecomark.jp> E-mail: info@ecomark.jp



エコマークは（公財）日本環境協会の登録商標です。